

希望をつむぐ教育

2,000円+税

四六判・328頁

人間の育ちと暮らしを問い直す

[編著] 行田稔彦、渡辺恵津子
田村真広、加藤聡一

「人とつながり希望をつむぐ」という“ことば”を、
これほどまでに実感をもって語り、聞き、
共有してきた時代があったらどうか。

2011年3月11日の東日本大震災の発生は、
大地震と大津波、そして、
福島原発の爆発という天災と人災の二重災害で、
人々の生存する基盤が壊滅的に破壊された。
何もかもが失われた中で、
人間の暮らしの在り方が問い直され、
「地域無くして学校無し・学校無くして地域無し」と、
教育の在り方の“根本的見直し”が求められた。

私たちは、「人とつながり希望をつむぐ教育」こそ、
日本の教育改革に求められていると主張してきた。
「希望をつむぐ教育」とは何か。
この課題は、私たちが常に希求し続けるものであり、
本著に掲載した44の実践と論文は、
現段階での私たちの到達点である。

日本生活教育連盟は今年70周年を迎え、
直近の10年間の実践記録を基に編纂した本著は、
「生活教育」を求める教師たちが日本の各地で、
子どもと地域の問題解決に正面から向き合ってきた
教育実践記録である。

「はじめに」より

希望をつむぐ教育

編著
行田稔彦 渡辺恵津子
田村真広 加藤聡一

人間の育ちと暮らしを問い直す



生活ジャーナル

目次

- 1章 「困った」子は、「困ってる」子
- 2章 なかまがつながり、生活を創る
- 3章 易しいことは、深いこと
- 4章 自分が見え、世界をよみとく学び
- 5章 生活教育の理論

購入申込書

日本生活教育連盟出版事業担当
生活ジャーナル

E-mail nisseiren70kinen@gmail.com

TEL 03-5996-7442 FAX 03-5996-7445

氏名

住所 〒

電話番号

FAX

[希望部数]

部